

## 令和2年度第3回理事会 議事録

日 時：令和2年6月10日（水）17：30～19：40  
場 所：WEB会議  
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、  
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事  
陪 席：長谷川 正和（定時総会打合せ・JA愛知厚生連 渥美病院）  
欠 席：なし  
理事定数：21名  
出席理事数：21名  
議 長：中根 生弥  
書 記：柴田 典子  
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

### I. 成立宣言

新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、Web会議にて開催した。出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

### II. 報告事項

#### 1. 行事開催および役員行動報告

5月1日 第2回理事会

◎中根、中井、岡田、夏目、石神、内田、刑部、武山、柴田、鈴木、  
和出、神野、今井、水野、村瀬、渡辺、梶山監事

5月21日 第2回精度管理事業部会議

◎岡田、菊地

◎は責任者

#### 2. 会長・副会長行動報告

##### (1) 第2回執行理事会報告（中井副会長）

中井副会長より第2回執行理事会について、議事録の提示とともに下記の内容が報告された。新型コロナウイルス感染症関連の支援事業については軽症者向け宿泊施設2か所ともに全員退所したため現在支援は行っていないが、引き続き支援要請があった場合に迅速に対応できる体制を整えるよう会員施設等に依頼することとした。また、会長の提案により、新型コロナウイルス第2波に向けての対応として 各部門の活動、リモート設備の構築、アンケート実施、災害対応としてのコロナ対策や愛臨技事務所の運営設備などについて各部門で検討することとした。

##### (2) 中根会長

5月2日 愛知県下の医療施設におけるPCR検査体制および課題について、日臨技に報告した。

#### 3. 各部門報告

##### (1) 総務部門

中井副会長より、愛臨技のGoogleアカウントを取得し、そのアカウントでWeb会議用のZoomの有料契約を行ったと報告があった。これにより40分以上WEB会議が継続開催可能となった。ホストは1か所であるため、同時開催は出来ないが、今後各部門の活動でも使用できる。副会長がアカウントを管理するので利用したい場合は各担当副会長へ申請するようにと指示があった。

① 庶務部

夏目庶務部長より以下の報告がされた。

5月 1日 令和2年度班員・委員の委嘱状を発行し、発送を完了した。

5月 11日 事務所水漏れ、以降頻繁に水漏れがあり、修繕工事をする。  
当会保存資料などへの影響はなし。

5月 12日 丸理印刷に令和2年定時総会議案書の印刷を発注した。

5月 13日 日本臨床一般検査研究会より第18回スキルアップ講習会及び第12回日本臨床一般検査学会中止のため、後援名義不使用の連絡があった。

5月 20日 令和2年度班員委嘱状2名分について再発行し、発送した。

5月 20日 精度管理調査画像提供願いを発行し、発送した。

5月 20日 令和2年度委員委嘱状1名分について再発行し、発送した。

5月 30日 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会についてWEB開催となったが、後援名義の使用許可は承諾する旨、メールにて回答した。

なお、理事会の運営規程では出席者が過半数以上の場合には必ずしも書面決議は必要ではない。したがって今後WEB開催などで特に人数を限って開催する（参加者が過半数以下となる）場合のみ書面決議を行うこととした。

② 会計部

石神会計部長より、学術部、各地区の5月分会務報告書の確認報告があり、費用の発生する活動は無しとのことであった。また、日臨技より令和2年度会費と入会金が愛臨技へ入金されたと報告があった。

(2) 学術部門

岡田副会長より新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した新人サポート研修会を、WEB開催する予定で準備していると報告がされた。

① 学術部

以下の新型コロナウイルス関連資料を愛臨技HPへ掲載した。

[微生物検査研究班]

- ・新型コロナウイルスPCR検査について－導入済み施設、導入検討施設向け－
- ・COVID-19関連の日常検査における感染対策
- ・新型コロナウイルスについて－PCR検査を中心に－

[遺伝子染色体検査研究班]

- ・新型コロナウイルスについて－遺伝子検査での注意点－

② 精度管理事業部

菊地精度管理事業部長より5月21日（木）にWEB開催した第2回事業部会議について議事録と共に報告がされた。主な内容として新型コロナウイルス感染症対応のため2020年度愛臨技精度管理事業実施内容の一部変更したこと、手引書への設問に関与したメンバー名を併記することとしたなどが報告された。なお、結果検討会の開催を中止する代替手段として、評価C/Dであった参加施設へは個別サポート体制を検討しているとのことであった。また、2019年度の監査報告での指摘に対し、真摯に受け止め、改善対応をすることを確認したことが報告された。

### (3) 渉外部門

#### ① 各地区からの報告

各地区とも報告事項はなかったが、地区活動が制限されており、今後どのような形で活動するべきかとの質問がされた。これに対し中根会長より、12月までは活動は出来ないが、1月以降は開催できる可能性もあるため準備することはできること、但し、状況によっては直前に中止となることもあり得るため、その点も考慮しつつ、計画を建てて欲しいとのことであった。また、WEB会議などで開催した場合も会議録は残すよう指示がされた。

#### ② 組織部

刑部組織部長より、新型コロナウイルス感染症対応などを含むアンケートを作成中であり、集計作業などを省力化するため、Google フォーム等のWEB上での実施についても検討しているとの報告がされた。

#### ③ 広報部

武山広報部長より以下の報告がされた。

「らぼニュース No.459」(6月号)を3,600部発行した。

定時総会議案書、会誌らぼを各3,600部発行した。

送付物不着会員への対応については規定がないため、検討することとした。

### 4. 各委員会報告

#### (1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より、研究班生涯教育登録用端末の更新状況の報告がされ、一部まだ更新中であるが、6月中には更新完了できるとのことであった。また、組織部用の端末 SonyVAIO 3台については、画面不良等や経年劣化により使用継続は難しいが、別のPCにて対応予定とのことであった。

#### ホームページ更新歴

4月18日 新型コロナに関する情報の更新

4月22日 新型コロナに関する情報、医療法一部改正の更新

4月29日 新型コロナに関する情報の更新

5月1日 らぼニュース5月号掲載

5月1日 中部圏支部医学検査学会のバナー設置

5月3日 生物化学分析検査研究班 2019年度活動報告書、班員名簿、お知らせの掲載

5月4日 生物化学分析検査研究班 2019年10月基礎講座、2019年活動報告まとめの掲載

5月9日 新型コロナに関する情報の更新

5月19日 AiCCLS バブコメの削除

5月20日 一般検査研究班 2月活動報告、名簿修正

5月21日 らぼニュース6月号掲載予約

5月22日 病理細胞検査研究班 2月活動報告、名簿修正

### 5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より以下の報告がされた。

5月7日 令和元年度の監査を受けた。標準化事業が計画的に遂行されており、会計経理状況は収支決算書の通り良好かつ適正に運用されているとの結果であった。

5月13日 AiCCLS 新発刊物(尿定性検査の手順書、病理検体とホルマリン)を会員、賛助会員、愛知県医師会、愛知県病院協会、日臨技、都道府県技師会へ発送した。

## 6. 第20回愛知県医学検査学会第10回実行委員会報告

水野理事より5月20日WEB開催の第10回実行委員会の報告が議事録と共にされた。開催延期に伴い実行委員全員の継続を確認し、令和3年7月4日(日)ミッドランドホールでの開催を第1候補として検討する。共催・協賛企業10社の内5社から返金依頼があり対応した。一般演題発表者に対しては開催日、会場が決定した後、演題の再登録を依頼する。また、学会名の「創立70周年記念」の冠について水野理事から質問があったが、中根会長より延期されてもそのままでの指示がされた。

## 7. 日臨技および日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より資料と共に報告があった。主なものは以下の通り。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策における日臨技認定制度の1年間凍結について(2日臨技発第18号)認定期間の1年延長。
- (2) 日臨技各都道府県技師会の新型コロナウイルス感染症対策について(日臨技別紙資料3)各地臨技の活動状況報告があり、愛知県の活動(「PCR検査所」の設置、検体採取支援等)も取り上げられた。
- (3) 日臨技支部医学検査学会ならびに支部主催研修会について(2日臨技発第27号)支部学会は今年度開催中止(来年度以降順延)、研修会等は12月までは中止、1月以降は各支部での判断で開催する。
- (4) 令和2年度都道府県技師会主催研修会・講習会の運用について(2日臨技発28号)資料配布、WEB開催などで開催した場合、レポートの提出をもって参加登録(生涯教育点数付与)とする。
- (5) 令和2年度医療安全管理者養成講習会の中止について(2日臨技発第29号)
- (6) 令和2年度精度保証施設認証制度認証基準の審査要求事項の変更について(2日臨技発30号)外部精度管理調査への参加を必須要件としない等。
- (7) 新型コロナウイルス感染症の核酸増幅検査(PCR等)の研修について(2日臨技発34号)特例措置として検体採取についての講習会(WEBで座学、実技講習はOJT)を各都道府県で開催要請あり。

日臨技からの情報は各地区理事から会員施設へ共有するよう依頼がされた。

日臨技認定制度の1年間凍結に対し、証明書は発行されるのかとの質問がされた。後日中根会長より日臨技へ照会した結果、証明書の発行は難しいため、周知文書で対応するよう指示がされた。

## III. 協議事項

### 1. 第2回理事会の議事録(案)の確認について

夏目庶務部長より第2回理事会議事録(案)の確認依頼があり、修正があれば1週間以内に夏目庶務部長まで通知することとした。

### 2. 令和2年度愛知県精度管理専門委員の推薦について

夏目庶務部長より令和2年度愛知県精度管理専門委員の推薦について審議依頼があった。

委員の任期は1年、3名を推薦する。岡田元氏と内田一豊氏の再任、神野洋彰氏を新任として推薦することを全員一致で承認した。

### 3. 2020年度愛知県医師会精度管理委員の推薦について

夏目庶務部長より2020年度愛知県医師会精度管理委員の推薦について資料と共に審議依頼があった。委員の任期は2年、6名を推薦する。当会の規程では延長(再任)は6年を限度とするとあり、今井正人氏が既に8年継続しているが、今期2名の新しい委員が入ること、その他3名もまだ2年の経験しかないことから、事業の継続、後進の指導などを考慮し、再任を全員一致で承認した。その他の委員5名についても全員一致で承認した。梶山監事から今回は特例であり、次

年度は交替できるように活動していくよう指示があった。

4. 検査と健康展の開催について  
刑部組織部長より、毎年開催していた「検査と健康展」の今年度開催について審議依頼がされた。日臨技主催の中央会場開催は中止、地方会場については各都道府県技師会の判断でとのことであったが、会場の確保が難しいこと、これまでの開催内容から3密は避けられないことから今年度は中止することとした。
5. 第20回愛知県医学検査学会延期に伴う学会役員の再推薦およびAMTIS権限継続と変更について  
尾張南・水野理事より学会役員の再申請、実行委員のJAMTIS権限の継続と変更依頼があり、全員一致でこれを承認した。

#### IV. 新入会審査

1. 夏目庶務部長より新入会36名、転入会6名の合計42名の承認依頼があった。  
勤務先名称の記載のない8名については、自宅は愛知県であることを確認済みとのことであり、全員一致でこれを承認した。

#### V. 確認事項


1. 令和2年度定時総会の進行について  
夏目庶務部長より6月14日開催予定の令和2年度定時総会の進行について資料に沿って説明がされ、議長を含め役割分担・タイムスケジュール・シナリオについて確認した。
2. らぼニュース7月号掲載内容について  
武山広報部長より表記の件について確認依頼がされた。  
地区だより(尾張東、東三河)  
巻頭言 会長就任にあたって
3. 令和2年度新人サポート研修会 Web 配信のらぼ原稿掲載について  
内田学術部長より表記らぼ原稿内容等の確認依頼がされた。音声付パワーポイントでの無料配信とし、閲覧は自由、但し、愛臨技会員でレポート提出者のみ生涯教育の点数を付与することとする。
4. 2020年愛知県臨床検査精度管理調査実施要綱その他について  
菊地精度管理部長より2020年度愛知県臨床検査精度管理調査実施要綱、測定依頼趣意書および共催依頼書の確認依頼がされた。内容確認し、趣意書、庶務部長より発送することとした。

#### VI. 連絡事項

1. 国際交流助成活動実施に伴う公益認定申請変更について  
中井副会長より今年度国際交流助成を新規に公益事業として挙げたが、愛知県から公益認定事業申請の変更が必要であると指摘があったため、公益事業1の追加変更手続きを行っていることが報告された。
2. 班会議などの開催について  
中根会長より今後の班会議などの開催については3密を避ける形であれば開催可能、事務所の利用も可能との指示がされた。

令和2年7月1日

議長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

議事録署名人：山崎 正夫 